

女川原子力発電所 2 号機
原子炉設置変更許可申請の補正（2 回目）の概要について

1. 補正（2 回目）の位置付け

補正書（1 回目）提出後の審査における議論を踏まえ、重大事故時における対応手順・体制の改善や記載の充実化等を図った。

2. 補正（2 回目）の主な内容

項目	補正内容
重大事故時の 手順・体制	可搬型窒素ガス供給装置※の暖機操作について重大事故対応手順へ追加 ➤ 低温時に行う暖機操作について、通常時の管理手順の中で行う運用としていたが、それに加え、 <u>重大事故対応時にも確実に供給装置を運用するため、重大事故対応手順にも暖機操作を追加。</u> ※：原子炉格納容器内および原子炉格納容器フィルタベント系系統内の水素ガスなどを排出するために、窒素ガスを供給する可搬型の装置
	航空機燃料火災発生時における泡消火作業時間の短縮 ➤ 航空機の衝突による燃料火災への対応に関して、準備作業の効率化を図ることにより、 <u>消火開始までの作業時間を短縮。</u>
	可搬型計測器による計測対応要員の増員 ➤ 重大事故時に可搬型計測器による計測を行う運転員の負担を軽減するため、 <u>運転員のほかに計測対応要員を増員。</u>
重大事故時の 有効性評価	重大事故時の原子炉注水方法について、実運用を踏まえた評価を追記 ➤ 重大事故時における原子炉注水手段として、高圧炉心スプレイ系や原子炉隔離時冷却系を用いることを想定しているが、原子炉格納容器圧力・温度への影響について、より厳しい評価である高圧炉心スプレイ系を用いた評価のみを記載していた。 実運用上は原子炉隔離時冷却系での原子炉注水の対応を想定していることから、高圧炉心スプレイ系を用いた評価に加えて、 <u>原子炉隔離時冷却系を用いた評価を追記。</u>
記載の充実化	用語の統一や設備名称の明確化等、記載の充実化を図る観点からの修正（例） ➤ 「緊急時対策所加圧設備」と記載すべき箇所に、「緊急時対策所加圧設備（空気ポンベ）」と記載していたため、 <u>「緊急時対策所加圧設備」に統一</u> ➤ 緊急時対策所専用の「電源車」については、専用設備であることを明確にするため、記載を「 <u>電源車（緊急時対策所用）</u> 」に変更 ➤ 地震動評価における地下構造モデルの <u>設定手順に係る記載の充実化</u> 等